

令和5年度教職員等中央研修 実施要項

(学校経営力や課題解決力の育成を目的とする研修)

1 目的

各地域において中心的な役割を担う教育行政リーダー、校長、副校長・教頭、中堅教員、リーダー教員及び事務職員等を対象として、学校組織・カリキュラムのマネジメントや、組織的で探究的な学びについての講義・演習・協議、及び、研修後の成果活用を通して、1) 学校が直面する課題に組織として対応し特色ある教育活動を自律的に展開したり、2) 当該地域の教職員や学校の学びを高めたりするための、学校経営力や課題解決力の向上を目指す。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省

4 研修名並びに受講期間等 ※期間は全て令和5年度

(1) 教育行政リーダー研修

回	期 間	対 象	標準定員	実施方法	推薦期限
1	(6月19日(月)15時から1時間程度、事前説明会) ①8月7日(月) ～8月10日(木) ②1月26日(金)	各都道府県市町村の教育委員会幹部職員等	50人	①集合・宿泊 ②オンライン	5月25日(木)まで

(2) 校長研修

回	期 間	対 象	標準定員	実施方法	推薦期限
1	①6月26日(月) ～6月30日(金) ②12月13日(水)	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の校長等	50人	①集合・宿泊 ②オンライン	5月11日(木)まで
2	9月4日(月) ～9月8日(金)	主として小学校・中学校等の校長等	40人	集合・宿泊	6月1日(木)まで
3	10月16日(月) ～10月20日(金)	主として高等学校・特別支援学校等の校長等	40人		
4	11月27日(月) ～12月1日(金)	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等の校長等	40人	オンライン	

(3) 副校長・教頭等研修

回	期 間	対 象	標準定員	実施方法	推薦期限
1	①7月3日(月) ～7月7日(金) ②12月11日(月)	小学校・中学校・特別支援学校等の副校長・教頭、指導主事等	60人	①集合・宿泊 ②オンライン	5月18日(木)まで

2	8月21日(月) ～8月25日(金)	小学校・中学校・高等学校・ 特別支援学校等の副校長・教 頭、指導主事等	100人	集合・ 宿泊	6月1日 (木)まで
3	10月2日(月) ～10月6日(金)	高等学校・特別支援学校等の 副校長・教頭、指導主事等	100人		
4	11月13日(月) ～11月17日(金)	幼稚園・小学校・中学校の副 校長・教頭、指導主事等	100人		
5	1月29日(月) ～2月2日(金)	小学校・中学校・高等学校・ 特別支援学校等の副校長・教 頭、指導主事等	160人	オンラ イン	

(4) 中堅教員研修

回	期 間	対 象	標準定員	実施方法	推薦期限
1	①6月5日(月) ～6月9日(金) ②12月4日(月)	小学校・中学校・高等学校・ 特別支援学校等の教諭	60人	①集合・ 宿泊 ②オンラ イン	4月13日 (木)まで
2	7月24日(月) ～7月28日(金)	小学校・中学校・高等学校・ 特別支援学校等の教諭	120人	集合・ 宿泊	5月25日 (木)まで
3	9月11日(月) ～9月15日(金)	主として高等学校・特別支援 学校等の教諭	120人		6月1日 (木)まで
4	10月23日(月) ～10月27日(金)	主として小学校・中学校等の 教諭	120人		
5	1月22日(月) ～1月26日(金)	小学校・中学校・高等学校・ 特別支援学校等の教諭	160人	オンラ イン	

(5) リーダー教員育成研修

回	期 間	対 象	標準定員	実施方法	推薦期限
1	①6月12日(月) ～6月16日(金) ②12月6日(水)	教職経験概ね10年前後の者 で小学校・中学校・高等学校 ・特別支援学校等の教諭	60人	①集合・ 宿泊 ②オンラ イン	4月27日 (木)まで
2	7月31日(月) ～8月4日(金)		100人	集合・ 宿泊	6月1日 (木)まで
3	9月25日(月) ～9月29日(金)		100人		
4	11月6日(月) ～11月10日(金)		160人	オンラ イン	

(6) 事務職員研修

回	期 間	対 象	標準定員	実施方法	推薦期限
1	①6月26日(月) ～6月30日(金) ②12月18日(月)	小学校・中学校・高等学校・ 特別支援学校等の事務職員	50人	①集合・ 宿泊 ②オンラ イン	5月11日 (木)まで
2	9月4日(月) ～9月8日(金)	主として小学校・中学校等の 事務職員	60人	集合・ 宿泊	6月1日 (木)まで
3	10月16日(月) ～10月20日(金)	主として高等学校・特別支援 学校等の事務職員	60人		
4	11月27日(月) ～12月1日(金)	小学校・中学校・高等学校・ 特別支援学校等の事務職員	80人	オンラ イン	

※各研修の第1回の「②」は、インターバル研修として実施する。

インターバル研修は、省察の深まりと研修内容の実践への転移を高めることを目的として、研修後における実践の進捗状況の発表や質疑応答のグループ活動等を、実施の予定(9時00分～16時00分)である。内容や日程の詳細は、集合研修時に連絡する。

5 実施方法・会場等 ※「4 研修名並びに受講期間等」の「実施方法」参照

(1) 集合・宿泊

会 場：独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

(2) オンライン

Web会議システムを用いた同時双方向通信によるリアルタイム・オンライン研修

(「Zoom ミーティング」(株)Zoom ビデオコミュニケーションズ)を使用)

配信元：独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

※(1)(2)いずれの実施方法においても、オンラインによる事前課題を実施する場合がある。

6 受講者

(1) 受講資格

ア 教育行政リーダー研修

各都道府県市町村の教育委員会幹部職員等(別紙参照)

イ 校長研修

小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校等の校長等で、今後、学校経営、教育実践において当該地域の中核として活躍が期待される者

ウ 副校長・教頭等研修

幼稚園の園長・副園長等、小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校等の副校長・教頭、教育委員会等の指導主事等で、今後、学校経営、教育実践において当該地域の中核として活躍が期待される者

主幹教諭については、各教育委員会の判断により「副校長・教頭等研修」に推薦することができる。

エ 中堅教員研修

小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校等の教諭・主幹教諭・指導教諭等で、今後、当該地域の中核としての活躍が期待される者のうち、教職経験が概ね10～20年の者

オ リーダー教員育成研修

小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校等の教諭・主幹教諭・指導教諭等で、今後、当該地域の中核としての活躍が期待される者のうち、教職経験が概ね10年前後の者（30代の若手教員を想定）

カ 事務職員研修

小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校及び特別支援学校等の事務長または、学校事務の共同実施におけるリーダー的な役割を担う者であって、今後、学校経営、教育実践において当該地域の中核として活躍が期待される者（経験が概ね20年以上の者を想定）

※「第5次男女共同参画基本計画」（令和2年12月25日閣議決定）を踏まえ、研修における女性教職員の割合を概ね25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦手続

各都道府県・指定都市教育委員会等においては、「研修システム」により推薦を行う。

ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(3) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。

ただし、各回の標準定員を超過した場合には、受講者数を調整することがある。

そのため、研修システムにより推薦を行う際に、各研修の回ごとに推薦者の推薦順位を入力すること。

7 研修内容

研修名	講義名（講義順に記載）
教育行政リーダー研修	(別紙参照)
校長研修	○令和の日本型学校教育の実現に向けて ○リスク・マネジメント ○タイム・マネジメント ○学校マネジメントプランの設計 ○学校組織マネジメント ○カリキュラム・マネジメント ○スタッフ・マネジメント ○学校改善計画の策定
副校長・教頭等研修	○令和の日本型学校教育の実現に向けて ○地域とともにある学校づくり ○リスク・マネジメント ○学校ビジョンの構築 ○学校組織マネジメント ○カリキュラム・マネジメント ○スタッフ・マネジメント ○学校改善計画の策定
中堅教員研修	○令和の日本型学校教育の実現に向けて ○生徒指導の推進 ○リスク・マネジメント ○学校ビジョンの構築 ○学校組織マネジメント ○インクルーシブ教育システムの推進 ○カリキュラム・マネジメント ○学校改善計画の策定
リーダー教員育成研修	○令和の日本型学校教育の実現に向けて ○新しい学びの推進 ○学校組織マネジメント ○生徒指導の推進

	○インクルーシブ教育システムの推進 ○学校ビジョンの構築	○カリキュラム・マネジメント ○学校改善計画の策定
事務職員研修	○令和の日本型学校教育の実現に向けて ○リスク・マネジメント ○財務マネジメント ○学校マネジメントプランの設計	○学校組織マネジメント ○カリキュラム・マネジメント ○事務職員の役割と職能成長 ○学校改善計画の策定

8 事前課題について

本研修では、実施方法（集合・宿泊、オンライン）にかかわらず、事前のオンライン研修を実施する場がある。

また、教育行政リーダー研修については、6月19日（月）の15時から1時間程度、参加者向けの事前説明会を開催する。

学習管理システム「学びばこ」による講義動画の配信を行う予定のため、受講者の推薦に当たっては、事前課題に取り組むことができる環境について配慮すること。

なお、詳細及びその他の事前課題等については、決定通知及び研修前の事務連絡等で通知する。

9 研修成果の活用レポートの提出及び研修終了後1年後アンケートの回答について

本研修は、受講者の研修成果を各学校や地域で活用することを前提としており、受講者は、研修終了後に「研修成果の活用レポート」を作成・提出及び研修終了後1年後アンケートの回答を行うこととする。推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

なお、受講者は「研修成果の活用レポート」を作成し、令和7年1月10日（金）までに、教職員支援機構及び推薦元宛てに提出する。

※「研修成果の活用レポート」の様式・提出方法及び「研修終了後1年後アンケート」の回答方法については、別途通知する。なお、回答受付開始の詳細については、受講時に案内する。

10 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 実施方法が集合・宿泊の研修は、原則として教職員支援機構の宿泊施設を利用するものとする。
- (3) 集合・宿泊型研修には、受講者が使い慣れたパソコン等を持参すること。
- (4) 集合・宿泊型研修に参加が困難な教職員に配慮し、各研修最終回の実施方法はオンラインとする。
- (5) 実施方法がオンラインの研修では、Web会議サービス「Zoomミーティング」（（株）Zoom ビデオコミュニケーションズ）を用いて同時双方向通信を行う。受講に当たっては、当該ソフトウェアのインストールや安定したインターネット通信環境の確保のほか、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。
 なお、研修の開始前には、接続及び動作確認テストの日程を別途設ける。接続及び動作確認テストの日程や方法等の詳細については、別途通知する。
- (6) オンライン研修については、受講者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な受講環境及び研修時間の確保等、特段の配慮をお願いする。
- (7) 本研修の受講に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合は、事前に当機構に相談すること。

教育行政リーダー研修の概要

趣旨

多様な教育課題がある中、各教育委員会には、既存の視点・思考に囚われることなく、優先的な課題を設定するとともに、学校に対して効果的な指導や支援（「働きかけ」）を行うことを通じて、教育行政を前に進めることが求められている。

教育委員会が、的確な課題を設定するとともに学校の継続的な変化を促す上で「鍵」となるのは、教育委員会内部や教育委員会・学校の間で、データや実感等に基づき、目標達成に向けた組織的で探究的な議論を繰り返すことであり、また、学校内で自主的な改善サイクルが回るよう働きかけ、支援することである。

このような考えのもと、この研修は、省察、事例共有、ケーススタディ、行動方針の策定や実践等を通して、教育委員会幹部職員等に求められる、視点・思考の根底を探り、課題を再構築する力や、学校の内発的な改善を促す力を高めることを目標としている。

また、全国の教育委員会幹部職員等が、協議や宿泊を通して交流し、将来に続くネットワークを構築することも、主要な研修目標の一つである。

受講対象者

各都道府県市町村の教育委員会幹部職員等50名である。

主に、課長級、次長級職員を想定しているが、教育長や主任指導主事などの参加も歓迎する。

推薦期限

令和5年5月25日（木）まで

研修期間

受講者に対する事前説明会：令和5年6月19日（月）の15時から1時間程度

集合・宿泊：令和5年8月7日（月）～10日（木）の3泊4日（教職員支援機構つくば本部にて）

オンライン：令和6年1月26日（金）

研修講師（予定）

葛西耕介氏（愛知県立大学准教授）

熊平美香氏（一般財団法人クマヒラセキュリティ財団代表理事）

佐古秀一氏（鳴門教育大学学長）

千々布敏弥氏（国立教育政策研究所総括研究官）

町支大祐氏（帝京大学大学院講師）

日渡円氏（兵庫教育大学特別教授）

6月 オンライン（1時間程度）

・研修のねらいと、研修への持参物（※）の説明

（※）①これまでの来歴が分かるもの

②担当している教育行政への課題意識や研修への期待（自由様式）

）

8月 教職員支援機構つくば本部（3泊4日）

< 1日目 >

（午前）

●ガイダンス

●①、②に基づく、参加者間での行政経験や課題意識・期待の共有

（午後）

●特色ある教育行政の事例紹介・協議

< 2日目 >

（午前）

●課題設定に関するケーススタディ

（午後）

●課題設定に関するケーススタディ

●課題意識を深めるワークショップ（リフレクション・対話）

< 3日目 >

（午前）

●課題意識を深めるワークショップ（リフレクション・対話）

（午後）

●「働きかけ」に関するケーススタディ

●学校の内発的改善の支援に関するヒント

< 4日目 >

（午前）

●課題設定・「働きかけ」に関する今後の行動方針の策定

（午後）

●研修を通じた気づきや行動方針に関する協議（4人×40分）

）

地域での実践

）

1月 オンライン（1日）

・半年間の行動・気づきの振り返りと共有（4人×80分）（自由様式の振り返りを基に）